大阪市老人クラブ徽章

全国3大運動
健康・友愛・奉仕をめざして
市内全会員に配布

月刊 大老連

平成28年 7月号
第696号 毎月1日発行
平成28年（2016年）7月1日
定価30円（送料別） 年間購読料1,100円（送料共）
購読お申し込みは、月刊大老連編集室にご連絡ください。

昭和33年9月19日第三種郵便物認可
〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センター3階
発行所 一般社団法人 大阪市老人クラブ連合会
電話 事務局 06(4304)8555
編集室 06(4304)8556
FAX 06(4304)8557

大老連定時総会を開催

事業報告書・収支決算書などを承認

大阪市老人クラブ連合会の定時総会が、5月26日(木)午後、大阪市天王寺区の市立社会福祉センターで開催され、新たに大老連理事5名、監事1名が選任されるとともに、平成27年度事業報告書・収支決算書・公益目的支出計画実施報告書の審議が行われ、全会一致で承認されました。

総会は、原田壽総務部会長の司会で始まり、代議員定数88名中、出席者75名(書面表決12名)となり、過半数に達したので成立しました。

まず、中保昌理事長の開会あいさつと諫山保次郎大阪市福祉局長（河野圭司大阪市福祉局高齢者施策部長代読）のあいさつの後、大会役員の選出に移り、議長に城東区の佐伯理代議員、住之江区の琶湖聰一郎代議員、議事録署名人に鶴見区の吉江潤二代議員、阿倍野区の榎本博光代議員が指名され、議事に入りました。

第1号議案の大老連理事5名、監事1名の選任について、籔本冬樹事務局長から提案があり、全会一致で承認されました。(平成28年6月号に掲載)

第2号議案の平成27年度事業報告書について籔本事務局長から説明があり、第3号議案の平成27年度収支決算書及び第4号議案の公益目的支出計画実施報告書については菅沼清事務局次長兼総務課長から説明があり、それぞれ審議が行われ、全会一致で承認されました。

最後に、石井好男副理事長の閉会のあいさつで、総会を滞りなく終了しました。

開会あいさつをする中保昌理事長

平成27年度事業報告書（概要）

昨今の社会経済状況が大きく変化する中で、人口の高齢化はますます加速しており、65歳以上の高齢者が3384万人となり、4人に1人が高齢者となる超高齢社会を迎えています。

このような中で、高齢者が地域社会の中で積極的な役割を果たしつつ、生きがいをもって生活できる環境づくりがとりわけ重要であり、私たち老人クラブの果たす役割はますます大きくなってきています。

しかし、老人クラブを取り巻く環境は、会員の減少、指導者の不足、財源の確保など当面する課題が山積しており、厳しい状況下に置かれています。

そのため、私たち老人クラブが活躍する舞台は毎日生活する地域社会の中にあると考え、地域づくりの新しい担い手としての役割の重要性を認識し、さらに一層の取り組みを進める必要があります。

平成27年度は、大老連では、「高齢者の元気は地域の元気」の信念のもとに、「健康・友愛・奉仕」の実現をめざし、さまざまな活動を展開してきました。

▽「高齢者のウォーキング事業」を継続実施するとともに、全老連の助成事業として「高齢消費者被害防止キャンペーン事業」の取り組みのほか、グラウンド・ゴルフ大会やゲートボール大会等のスポーツ事業を実施するなどの健康づくり活動を進めてきました。

▽ねたきり高齢者の友愛訪問や百歳長寿者のお祝い訪問、友愛募金運動の推進などの友愛活動、9月20日の全国一斉「社会奉仕の日」や環境美化・リサイクル活動の取り組みあるいは子ども見守り活動などの奉仕活動、友愛募金運動推進事業である第4回カラオケ大会の開催などの多様な活動を実施してきました。

▽今後の老人クラブ発展をめざすには、その活動を担う指導者の養成が今一番求められており、老人クラブ指導者・女性部指導者を対象とする合同研修会の開催をはじめ、防災施設の見学や身近で役立つテーマを取りあげての女性部リーダー研修を行うほか、7年目を迎える「健康づくり推進リーダー養成講座」を内容も充実して開催するとともに、各区老連への出前講座としての「リーダー養成講座」を引き続き実施するなどの幅広い人材育成、リーダー養成に努めてきました。

▽大阪市高齢者福祉大会の大阪市との事業共催をはじめ、各区老人福祉センターを拠点として活動している各区老連事業とも緊密な連携を図りながら、近老協の実施する「近畿ブロック老人クラブリーダー研修会」や定例会あるいは全老連の実施する「全国老人クラブ大会」や女性リーダーセミナーの開催などの各種活動等を通じて、広い視野に立って積極的で活発な活動を展開してきました。

▽全国的な傾向である会員の減少は老人クラブ抱える重要な課題となっており、全老連においては、平成26年度から平成30年度までの5年間において老人クラブ「100万人会員増強運動」を推進することにしており、これに照応して、大老連においても老人クラブ「1万人会員増強運動」を展開し、「大老連シルバー元気づくり事業」の継続実施をはじめ、広報活動・PR活動の重点的展開を図るなど、さまざまな創意工夫を凝らして、会員の減少に歯止めをかけ、新規会員の勧誘活動を推進してきました。

大老連としては、地域の高齢者を代表する組織として、高齢者が活力をもつ明るく豊かな長寿社会となるよう人生の充実と長寿を喜びあえる地域社会づくりに取り組んできたところです。

平成27年度「組織運営」及び「主な事業のあらまし」（省略）

世界遺産 高野山

第55回大老連供養塔法要

9月27日（火）に実施

第55回を迎える大老連供養塔法要について、6月8日（水）、市立社会福祉センターにおいて「大老連供養塔管理運営委員会」が開催され、9月27日（火）、和歌山県の高野山奥の院において執り行われることが決定されました。また、各区の供養塔管理運営委員の皆さんには、例年どおり、当日の受付、案内、誘導、場内整理のそれぞれの役割を担当していただくことが承認されました。実施要領については、次のとおりです。

【日時】9月27日(火)午後1時～2時

【場所】高野山奥の院 大老連供養塔前

【次第】開会のことば▽祭文▽電文披露▽前讃▽回向祭文▽読経▽代表焼香▽一般焼香▽閉会のことば

【参詣者】墓碑建立者、納骨祭壇使用者、一般会員で参詣を希望される方

【行程】▽往路＝難波（南海電車）―極楽橋（ケーブル）―高野山（路線バス）―警察前下車（本王院にて受付、休憩、昼食）警察前（路線バス）―玉川通又は奥の院前下車（供養塔法要会場へ）

▽帰路＝玉川通又は奥の院前（路線バス）―高野山（ケーブル）―極楽橋（南海電車）―難波

【参加費】1人600円（交通費、法要料、昼食代、休憩料など）

【お申込み】所属の区老連を通じて申し込むこと。申込み締切日は8月19日(金)。なお、郵便振込みでの申込みもできるが、その場合は、郵送料等として500円を参加費に加算して振り込むこと。

【お問い合わせ】大老連供養塔法要担当 ☎06―4304―8555まで。

『荒野を拓く（ひらく）老人クラブ』

大阪ソーシャルワーカー協会会長 大塚 保信

随意随想

「村の渡しの船頭さんは、ことし60のお爺さん、年は取ってもお舟をこぐときは、元気いっぱい艪がしなる、それギッチラ、ギッチラ、ギッチラコ」、我々世代ならだれもが知っている長閑な日本の情景を歌った武内俊子作詞の童謡である。

ところが意外なことにこれが戦時歌謡であったことは今では殆ど知られていない。発表されたのは、あの太平洋戦争開戦を5か月後に控えた昭和16年7月であり、2番の歌詞は「雨の降る日も岸から岸へ、ぬれて船こぐお爺さん、今日も渡しでお馬が通る、あれは戦地へ行くお馬」、さらに3番では「村の御用やお国の御用、みんな急ぎの人ばかり、西へ東へ船頭さんは、休む暇なく舟をこぐ」と続く。戦時歌謡が戦後も歌い継がれたのは、その後2番以下の歌詞が峰田明彦氏によって書き直され一般向きの童謡として多くの人に親しまれるようになったからである。ひと昔前にあちらこちらで見かけたのどかな日本の原風景を想い起こさせる童謡が戦時歌謡であったことにも驚くが、その一方まだ60歳の船頭さんをお爺さんと呼んでいたことに今更ながら認識を新たにした。

厚生労働省の「簡易生命表」によれば男女とも平均寿命が50歳を超えたのは戦後の昭和22年で、男性50・06歳、女性53・96歳という記録がある。それゆえ戦前の60歳をお爺さんと呼ぶのもそれほど違和感はなかったのであろう。私のように戦後の貧しい時代を知る者は今や少数派に属するようになったが、その後の食生活の改善、住環境や衛生面への配慮・向上等により平均寿命は飛躍的に伸びた、有難いことである。ご存知かと思うが平均寿命というのは、罪なき多くの人々の命を奪う戦争とか極度の凶作や疫病等が全国的におこらないと仮定して、その年に誕生した赤ちゃんが平均的にあと何年生きられるかを表したものである。ともあれ平成26年度厚生労働省の調べによれば男性の平均寿命は80・50歳、女性は86・83歳まで延びた。再度断っておくがこの数字はあくまでも生まれたばかりの赤ちゃんを対象としたものであり、今年80歳の男性が「あと半年か」と心を細めるための数字ではない。年を重ねるほどに平均余命は延びる、超高齢者の欄に目を転じれば現在105歳の高齢者であってもその後数年間は余生を送ることができると統計数字は示しているからご安心あれ。しかしながら世情不安な戦前のように、時の政治指導者の誤った判断で無謀な戦争でもしようものなら平均寿命はガクンと下降することなかろうか。多くの企業は今でも60歳を退職年齢と定める会社が多い。75年前に60歳の船頭さんがいきいきと働いていた歌を思い起こすにつけ、当時とは比較にならないほど今の60歳は体力や気力に恵まれており、これまで積み重ねてきた経験や知識・知恵が円熟する頃に「はい、ご苦労様」と繋がりをプツンと切ってしまうのは何とも勿体ない。もう俸給や地位にこだわることなく、急速に進む少子化時代を支えていく新たな任務もありはしないか。しかしその一方、仕事ばかりが人生ではない。心だけは肝に銘じておかねばならない。

ところで村の船頭さんの歌に戻るが、平均寿命がまだ50歳にも達しない時代に、お爺さんと呼ばれていようとも60歳でありながら現役として仕事をこなしていた歌の背景にこそ目を向けるべきではなかろうか。戦時歌謡が戦後も歌い継がれたのは、その後2番以下の歌詞が峰田明彦氏によって書き直され一般向きの童謡として多くの人に親しまれるようになったからである。ひと昔前にあちらこちらで見かけたのどかな日本の原風景を想い起こさせる童謡であったことにも驚くが、その一方まだ60歳の船頭さんをお爺さんと呼んでいたことに今更ながら認識を新たにした。

厚生労働省の「簡易生命表」によれば男女とも平均寿命が50歳を超えたのは戦後の昭和22年で、男性50・06歳、女性53・96歳という記録がある。それゆえ戦前の60歳をお爺さんと呼ぶのもそれほど違和感はなかったのであろう。私のように戦後の貧しい時代を知る者は今や少数派に属するようになったが、その後の食生活の改善、住環境や衛生面への配慮・向上等により平均寿命は飛躍的に伸びた、有難いことである。ご存知かと思うが平均寿命というのは、罪なき多くの人々の命を奪う戦争とか極度の凶作や疫病等が全国的におこらないと仮定して、その年に誕生した赤ちゃんが平均的にあと何年生きられるかを表したものである。ともあれ平成26年度厚生労働省の調べによれば男性の平均寿命は80・50歳、女性は86・83歳まで延びた。再度断っておくがこの数字はあくまでも生まれたばかりの赤ちゃんを対象としたものであり、今年80歳の男性が「あと半年か」と心を細めるための数字ではない。年を重ねるほどに平均余命は延びる、超高齢者の欄に目を転じれば現在105歳の高齢者であってもその後数年間は余生を送ることができると統計数字は示しているからご安心あれ。しかしながら世情不安な戦前のように、時の政治指導者の誤った判断で無謀な戦争でもしようものなら平均寿命はガクンと下降することなかろうか。多くの企業は今でも60歳を退職年齢と定める会社が多い。75年前に60歳の船頭さんがいきいきと働いていた歌を思い起こすにつけ、当時とは比較にならないほど今の60歳は体力や気力に恵まれており、これまで積み重ねてきた経験や知識・知恵が円熟する頃に「はい、ご苦労様」と繋がりをプツンと切ってしまうのは何とも勿体ない。もう俸給や地位にこだわることなく、急速に進む少子化時代を支えていく新たな任務もありはしないか。しかしその一方、仕事ばかりが人生ではない。心身とも解放されて趣味やスポーツを楽しむのもよし、得意な分野を活かして社会的な活動に参画し新たな文化を創っていくのもまた意義あることである。

老人福祉法には意外と何歳から老人とするという定義はなく、福祉サービス（措置）の対象者として一般的には65歳からと認識されている。ところが僅か10年後の75歳になるともう「後期高齢者」と法的に位置付けられる。75歳といえば、ようやく「人の歩む道」が見えてきた年齢に達したに過ぎず、言わば円熟期の入り口にさしかかったに過ぎぬ。むしろようやく「高貴高齢者」の域に達したというのが相応しいかもしれぬ。老人クラブ会員の平均年齢も75歳前後ではなかろうか。まだ茶の間のテレビが白黒時代であった頃、「ローハイド」と題する西部劇が毎週放映され人気番組であったのをご記憶ではないだろうか。ガーボーイ（牧童）達が共同生活を営みながら、多くの困難と立ち向かい3000頭の牛を引き連れ広大な荒野を突き進んでいく物語である。「ローレン、ローレン、ローハイド」という主題歌を記憶されている方もいるに違いない。カーボーイは武器として腰に拳銃をさげているけれど、老人クラブに在籍されている会員や役員さんには永年にわたり培った豊かな経験と湧きいずる智恵という得難い武器がある。参画されている会員の意気は高く、特異な力量を発揮されている役員さんもよく知っている。活動が停滞して荒野にさまよっている老人クラブがあるとすれば、今こそ伝統ある大阪市老連の出番である。「ローレン、老連、大老連」と声を大にして共に一歩一歩前進しようではないか。

今後の主な事業予定

◇9月8日	大阪市高齢者福祉大会
◇9月27日	第55回大老連供養塔法要
◇11月2日	第16回大老連ペタンク大会
◇11月9日～10日	第45回全国老人クラブ大会
◇平成29年1月中旬	老人クラブ指導者・女性部指導者合同研修会
◇平成29年1月下旬	第5回大老連カラオケ大会

倶会一処
御参詣の折には、御宿泊御食事のお申し込みをお待ちしております。
大老連納骨供養塔
指定宿坊菩提所
高野山別格本山
本王院
電話 〇七三六局 代表(56)二一三四番
FAX〇七三六―五六―三一五三

読者割引あり
大江戸温泉物語 箕面観光ホテル
〒562-0006 大阪府箕面市温泉町1-1 ※カーナビ検索用072-723-2324
●ご予約・お問い合わせ 0570-041266 ナビダイヤル ※ナビダイヤル(有料) ※電話受付時間9:00～20:00
広告コード:5449
大衆演劇 連日上演中!! ご宿泊者観劇無料 ※休演日あり
ホテル最上階より大阪平野を一望
天空ノ棚湯
お食事は関西最大級の品揃え!!
夕食150品&朝食65品 食べ放題!!
最上級 プライムサーロイン使用
ローストビーフ
阪急梅田駅～箕面駅まで30分!!
箕面駅前から徒歩3分!!
※天空湯屋は宿泊のお客様専用の露天風呂です。日帰りのお客様はご利用いただけません。
1泊2食付バイキングプラン
平日大人4名様以上1室利用なら1名様
7,980(税別)円～
■標準客室 料金表(1名様1泊2食付バイキングプラン・消費税別)

消費税別	平日A	平日B	特定日C	特定日E	特定日G	特定日L
大人4名様以上1室利用	7,980円	8,980円	9,980円	11,980円	13,980円	18,980円
大人2・3名様1室利用	9,980円	10,980円	11,980円	13,980円	15,980円	20,980円
小学生	5,980円			6,980円		
3歳以上幼児(寝具有)	2,980円			4,980円		
3歳以上幼児(添寝)	1,980円			1,980円		

※価格は1泊2食付バイキングプランの1名様料金(サービス料込、消費税8%別、入湯税200円別)です ※平日B:金曜日、7/18
※特定日C:日曜日、8/29・30 ※特定日E:8/22～26 ※特定日G:土曜日、7/17・24～29・31、8/1～5・8/7～11・16～19・21・27
※特定日L:7/30、8/6・12～15・20 ※組合せでお子様を大人扱いにした方が安くなる場合は大人料金を適用 ※H28年9月1日以降の料金はお問い合わせください
※お部屋タイプはお任せとなります、お部屋をご指定のお客様はお一人様1,000円(税別)UP ※駐車場宿泊者1泊1,000円(税別)/台
無料シャトルバス運行 大阪梅田・千里中央・北千里 阪急茨木市・JR茨木
お電話で予約の際、「月刊大老連を見た」とお伝えいただくと
H28年7月31日泊まで 1日20室限定 平日(月～金)宿泊料 500円(税込)引
※対象60歳以上の方
※他の割引・サービスとの併用は出来ません

夏休み文楽特別公演
7月23日(土)～8月9日(火)
※7月29日(金)・8月6日(土)の第1部は貸切
好評発売中!
第1部 親子劇場 午前11時開演
五条橋
解説 ぶんらくってなあに
桐竹勘十郎＝監修 壌晴彦＝脚本
鶴澤清介＝作曲 大田創＝美術
新編西遊記 GO WEST!
第2部 名作劇場 午後2時開演
薫樹累物語
伊勢音頭恋寝刃
第3部 サマーレイトショー 午後7時開演
井上ひさし＝作 野澤松之輔＝作曲
金壺親父恋達引
―モリエール「守銭奴」による―
●国立劇場チケットセンター〔午前10時～午後6時〕
0570-07-9900
03-3230-3000(一部IP電話等)
http://ticket.ntj.jac.go.jp/
●チケット売場〔午前10時～午後6時〕
●ご観劇料(税込)
第1部 4,700円
第2部 5,400円
第3部 4,000円
国立文楽劇場
★地下鉄・近鉄〈日本橋〉駅下車 ⑦号出口徒歩約1分